



わかまち しぜん



ごきげんよう



昔ほど年の瀬をことさらに感じることはなくなってきましたか、いつものまにか気がついたら年末を迎えていたという年頃をむかえました。今年もらった年賀状を読み返しながらの年賀状書き、これか十二月下旬の恒例、追い込み作業です。「追い込み」で思い出しましたか、イルカの追い込み漁という文化か、エネスコ基準をクリアするためになるのはいかかなものか。世界から孤立するのは避けなければなりません。全てをヨーロッパの基準に合わせるといふのは疑問があります。今号は石切り場跡や奥の院とわかまちが誇る修善寺遺産を紹介しします。

S・MAP (エスマップ、Sはさんま、あやき、あわせ)

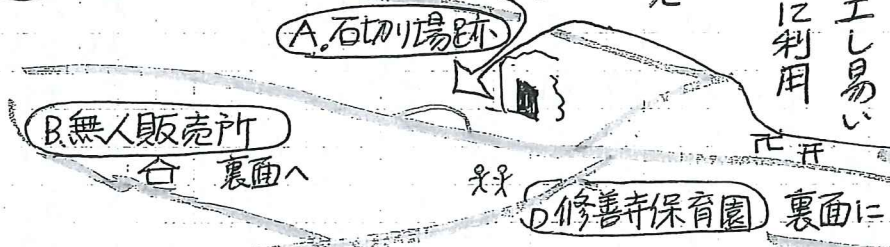
(場所はだいたいです、よしみに。そもそも地図自体が大ざっぱです)



A. 紙谷の石切り場跡

場所は紙谷の入口、瀑尻という地区(修小のマラソンでこの前を走りました。昔のことですよ)。ここの石は凝灰岩系、軟質で耐火性に優れ、加工し易いので主に「かまど」に利用された。(この石を使っただけでも散見される。)

生活様式の変化もあり、昭和30年代には採掘を終了、跡だけが残っています。ジオサイトとして脚光を浴びています。是非ご覧下さい。梅原



C. 奥の院護摩堂

かよいよよ完成します。12月22日、午後一時より落慶法要、その後例年通り星祭りの護摩焚火きを行ないます。



いつ頃からか、下着などをふろしきにくるんで煙にかがしてもらい健康祈願をするという風習があります。包みにはちゃんと名前かわかるようにして下さい。包みをほどこしてみたいと誰のかわからず、困りものから。



(S.M.A.P 情報)

B. 無人販売所



北又、ゲートボール場の手前にある。季節の野菜、くだものか百円ほどで売られている。手作りのカゴや袋など、ヨソにはないのがオススメ。以下は販売主、梅原さんの談(聞き手は梅原勇郎さん)

「始めて十年、自然相手に悪戦苦闘です。農薬を最小限に頭を使ってもやっています。わざわざ遠くから来てくれる方もいて『おいしかった』『楽しみにしてる』などの声に励まされます。お客様に感謝、自身の健康のためにもがんばります。時々、イタチやへびものぞりてくれます。行ってみたいくなりますね。」

(S.M.A.P 情報)

D. 修善寺保育園



外孫かろく月間お世話になったのですか。この環境は実にすばらしいと思つた次第であります。先生の園庭、澄んだ空気とともに負けない保育環境。これはイヤらしい方をしますか。充分に「売り」になると感じました。私ももう一度やり直したい。そんな気持ちにさせられたのであります。

お正月の準備

豆知識

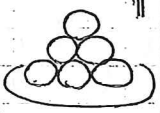
・12月29日(苦立) 31日(一夜飾り)は飾らない
ウラジロ... 長寿
だいだい... 代々つづく
ゆずり葉... 繁栄
こんぶ... 長く広く栄える

桂谷ニアクラブではお飾り注文受け付けています(11月15日締切)なので来年どうぞ



(編集後記)

八十八ヶ所巡拝のお接待、おつかれさまでした



今年は一、三日目か雨にふられて大変だったです。雨じゃあやめちまおうかしてなければいけませんので高齢化のめざましい「ゆせんじ」にとつては大きな課題といえます。改善案をひとつ。初日のお昼を神戸のお地蔵さんのところから、たとえば総合会館に移したら接待する方もされる方も楽になるんじゃないかと考えます。地蔵堂のところは道路を隔ててのお接待となり、横断するのに危ないし、トイレも大変です。何でも合理化すれば良い訳ではありませんが若い人たちが引き継ぎ易い環境をつくらうことはジジババ世代の使命ではないでしょうか。古いまの良さは、それを引き継いでいく若者を育ててこそ守られていくのだと思います。